



■ Universal MaaS パートナー（2022年7月14日時点）

右記 URL をご覧ください。<https://universal-maas.org/partner>

■ 各者の役割

- ・札幌市: 札幌市のバリアフリー情報収集・提供、実証実験に向けた調整
- ・ANA: 本共同プロジェクトのとりまとめ、全体サービス設計/開発
- ・ANA あきんど: 地域創生事業として、自治体・地域事業者との連携調整・実証実験の実働サポート

■ 「Universal MaaS」プロジェクトのこれまでの歩み

「Universal MaaS」プロジェクトは、2019年6月に正式に発足し、個別にサービスを提供してきた各事業者が垣根を越えて連携することで、お客さまの新たな移動体験の創出を目指してまいりました。初期においては、横須賀市周辺を中心に実証実験を重ね、昨年度は都内から航空移動を含めた大阪/京都/神戸エリアを移動するお客さまを対象に、車いすユーザー向け移動支援サービス「一括サポート手配」の実証実験を行いました。また、車いすユーザーの方々と共に構築した「バリアフリー地図/ナビ」の社会実装、視覚に障がいのある方々向けには、地図に代わる新たなナビゲーションサービスの構築を目指す実証実験を行うなど、精力的に活動を行っています。

※1: 「Universal MaaS」とは、障がいや高齢など、何らかの理由で移動にためらいのあるお客さまが快適にストレスなく移動を楽しめる移動サービスです。様々なお客さま・地域・企業・団体の方々と「誰もが移動をあきらめない世界」を目指しています。詳細は、右記公式ウェブサイトを参照ください。URL: <https://universal-maas.org/>

※2: 「一括サポート手配」とは、出発地から目的地までの移動における介助手配を、オンラインにて一括で行えるサービスです。詳細は、右記 URL をご覧ください。URL: <https://universal-maas.org/partner-arrangement-seamless-assistance>

※3: 「バリアフリー地図/ナビ」とは、他のユーザーが車いすで実際に走行したルート・利用したスポットなどのバリアフリー情報を表示し、目的地までの最短経路と合わせて、車いすユーザー向け移動参考情報の確認が可能な地図/ナビです。詳細は、右記 URL をご覧ください。URL: <https://universal-maas.org/partner-barrierfree-map-navigation-wheelchair>

＜札幌市が推進する 2030 北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の招致について＞

1972年に札幌市で開催されたオリンピック冬季競技大会は札幌のまちを大きく変えるとともに、市民をはじめ、世界中の多くの方の記憶に深く刻まれる大会となりました。それから50年が経ち、オリンピックは、開催を通じて社会課題の解決、社会の発展にどう寄与するかがより重視されるものとなり、札幌市は次の100年に向けたまちづくりを加速化させるきっかけとして、2030年大会の招致を目指しています。

北海道・札幌 2030 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致ウェブサイト URL: <https://winter-hokkaido-sapporo.jp/>



北海道・札幌

冬季オリンピック・  
パラリンピック  
の招致を目指しています

